

## えみふる ふぁいるに関する専門部会 内容概略

えみふる ふぁいる（以下、ファイル）は、令和元年9月より1歳6か月児から配布を開始した。今回の専門部会では、ファイルを普及し、効果的に運用するために、保護者や支援者側に使用し続けてもらうための課題と工夫を中心に協議した。

### 1 えみふるふぁいる（ファイル）の配布状況

- ファイルに綴られる成長記録は、お子さんと保健センター、保育園・幼稚園、学校、医療機関など支援者をつなぎ、情報を共有するものである。
- 配布実績が少ない支援部門については、各部門の役割を再確認し、配布に努める。  
※幼児ことばの教室、教育支援センターでの配布など再確認した。

### 2 保護者に使い続けてもらうための取組

#### 【視点1】 所持、活用実態の把握（3歳児健診でのアンケート調査について）

- 3歳児健診時に渡すアンケート調査票は、原案のままでも問題ない。
- 未就学児の場合、保育園等の手帳、就学児の場合、通知箋などをファイルに綴っておくと便利との声がある。

#### 【視点2】 保護者との関わり方（評価や労いをとらえた声掛けなど）

- ファイルに様々な情報が綴られていると、専門職でない支援者でも情報が共有でき、声掛けする際に活用できる。
- 支援者それぞれからの声、意見を盛り込んでおく必要がある。

#### 【視点3】 改めて活用を喚起（モニターの声など）

- 保護者が手にとったとき、モニターの声や記入例なども、目に入りやすい工夫を行う必要がある。  
⇒使い方や記入例などをファイルに綴っておき、配布後に保護者が見返せるようにする。
- 使い方や記入例については、文章よりもイラスト、写真などを使ってわかりやすいようにする。
- ファイルに、「ふぁいる」のQRコード、URLなど明記し、使い方、記入例等を調べやすくすると便利である。

### 3 支援者の取組と課題 / 4 個別の教育支援計画との連携

#### 【視点1】 活用方法（引継ぎ方、会議）に関する関係機関との共通理解（主に未就学児）

- 検査履歴（発達検査等）のシートは、HPからダウンロードできるようにする。
- 支援者が、保護者を前にしたときファイルを思い出せるよう、ポスターの掲示など工夫。

#### 【視点2】 個別の教育支援計画との連携

- 通常学級の児童生徒に対しては、簡単な成長記録等が記録されていることが有効となる。  
また、様式が園児向けのデザインとなっているため、小中学児向けのデザインがあれば紹介しやすい。
- 高校生、大学生になり、成長の躰きに気づく場合もあるため、幼い頃の作品や小中学校の通知箋など有益な情報を綴っておくよう啓発する。
- 成長曲線が描けるなど、基本様式以外のオプション情報をHPにアップする。